

東海経済レポート

（2018 年 9 月）

～企業部門、家計部門ともに緩やかな成長が継続～

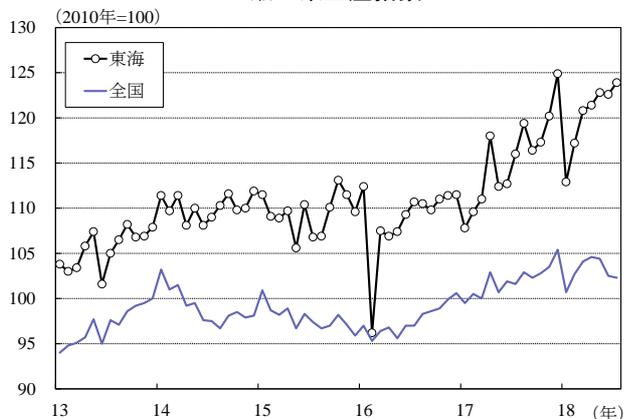
【足元の経済情勢と当面の見通し】

- ◇ 東海経済は緩やかな成長を続けている。企業部門では、生産が増加基調を保ち、設備投資や輸出も好調を維持している。家計部門では、良好な雇用環境の下、個人消費が底堅く推移している。
- 生産は、7 月の鉱工業生産指数が前月比+1.1%と 2 ヶ月ぶりの上昇。水準的にも、引き続きリーマン・ショック以降の最高域。業種別では、生産用機械などで前月比減産となったものの、電子部品・デバイス工業が 3 ヶ月連続で増産し、電気機械と輸送機械もプラス転化。
- 設備投資は、大企業の投資額が 4-6 月期に前年比+29.2%と大幅増加。製造業が同+44.2%、非製造業も同+10.2%と、揃って同二桁の伸び。金属工作機械の受注は、当地区主要 8 社の国内受注額が 7 月に前年比+32.9%と 12 ヶ月連続のプラス。
- 輸出額（円ベース）は、8 月に前年比+9.2%と 19 ヶ月連続で増加。中国向けが前年比二桁増となったほか、アジア、米国向けも好調。EU 向けも 2 ヶ月ぶりにプラス転化。品目別にみても、14 ヶ月連続で同二桁増の工作機械のほか、自動車、自動車部品など、主要品目は揃って増勢を維持。
- 労働市場では需給の引き締まった状況が継続。7 月の有効求人倍率は、愛知、岐阜、三重の 3 県が揃って低下。ただ、低下幅は小幅に止まり、水準は引き続き高位。
- 個人消費関連では、7 月の小売主要 3 業態の販売が前年比+1.1%と 2 ヶ月連続の増加。業態別では、百貨店が同▲5.4%と 2 ヶ月ぶりの減少となった一方、コンビニとスーパーは前年を上回った。また、7 月の新車販売台数は同+5.6%と、3 ヶ月ぶりに増加。
- 住宅着工戸数は、7 月に年率換算 9.3 万戸、前年比+1.3%と 4 ヶ月連続の増加。貸家が 4 ヶ月ぶりに前年割れとなった一方、分譲マンションが大きく伸びたほか、持家も小幅ながら増加し、全体を押し上げた。

【生産①】

7月の鉱工業生産は前月比+1.1%と、2ヵ月ぶりの増加。リーマン・ショック後の最高水準域で推移。

鉱工業生産指数

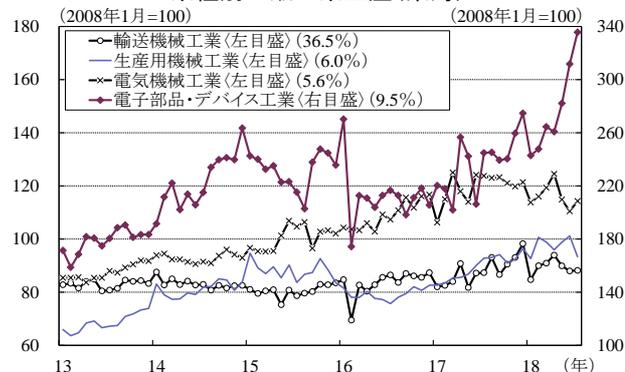


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【生産②】

生産用機械などで前月比減産となったが、電子部品・デバイス工業などでの生産増が継続。

業種別の鉱工業生産(東海)

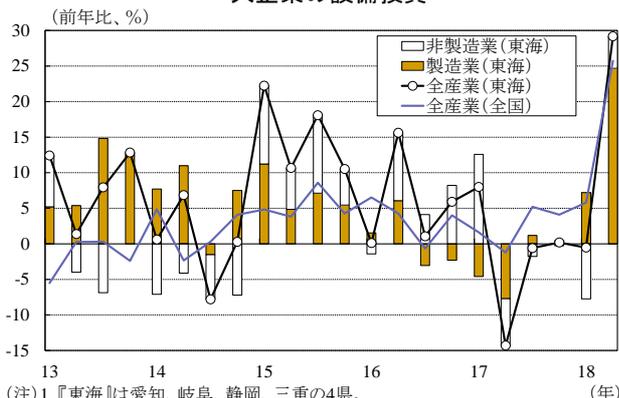


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
2.()内の数値は、業種毎の付加価値額の比率(平成22年基準。中部経済産業局算出)
(資料)中部経済産業局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【設備投資】

4-6月期の大企業の設備投資は前年比+29.2%と、大幅増加。特に製造業が同+44.2%と急伸。

大企業の設備投資

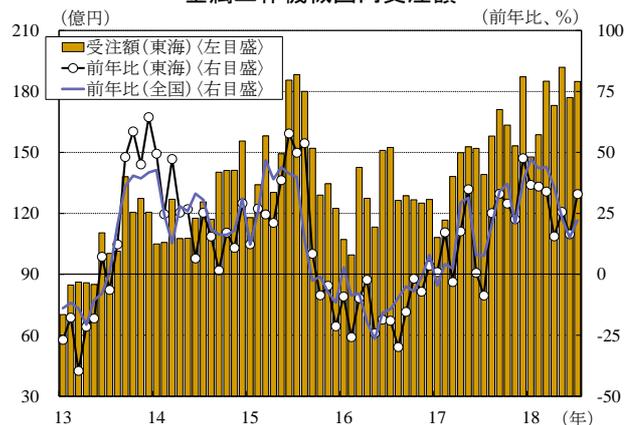


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、静岡、三重の4県。
2.資本金10億円以上の企業を対象。
3.設備投資額はソフトウェアへの投資を除いた金額。
(資料)東海財務局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【金属工作機械受注(国内)】

金属工作機械の国内受注額(当地区主要8社)は7月に前年比+32.9%と、12ヵ月連続の増加。

金属工作機械国内受注額

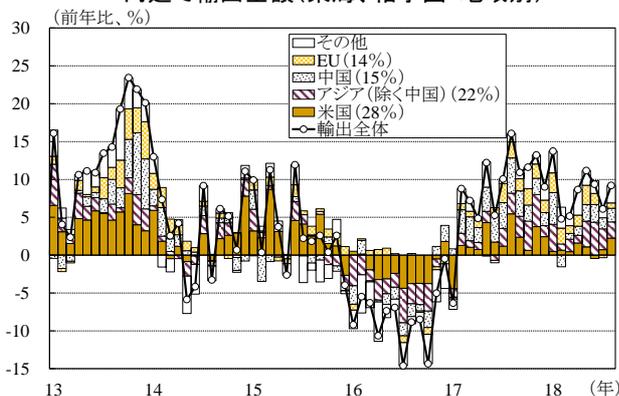


(注)『東海』は中部経済産業局管内の主要8社。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【輸出】

8月の輸出額(円ベース)は前年比+9.2%と19ヵ月連続で増加。主要相手国・地域別にも総じて堅調。

円建て輸出金額(東海、相手国・地域別)

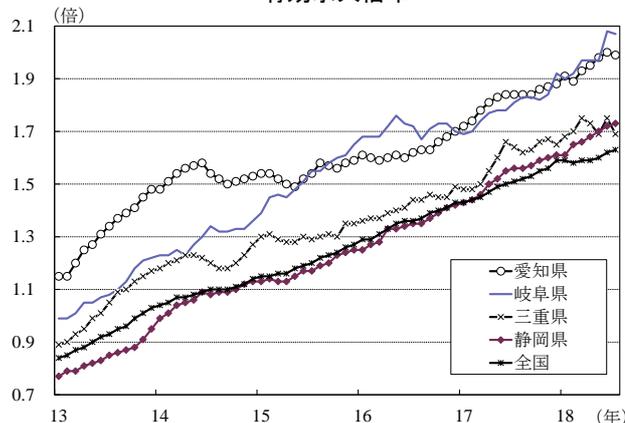


(注)1.『東海』は名古屋税関管内(愛知、岐阜、三重、静岡、長野)。
2.()内の数値は2017年輸出総額に占めるシェア。
(資料)名古屋税関統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【雇用】

7月の有効求人倍率は愛知、岐阜、三重の3県で低下したが小幅に止まり、引き続き高水準で推移中。

有効求人倍率

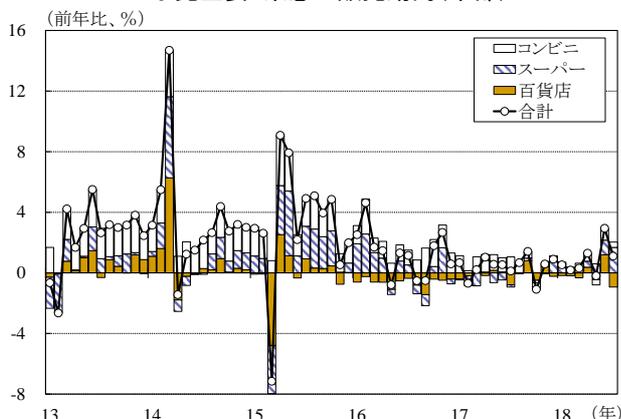


(資料)厚生労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【個人消費】

7月の小売主要3業態の販売は前年比+1.1%と2ヵ月連続の増加。スーパーが同+3.7%と好調。

小売主要3業態の販売動向(中部)

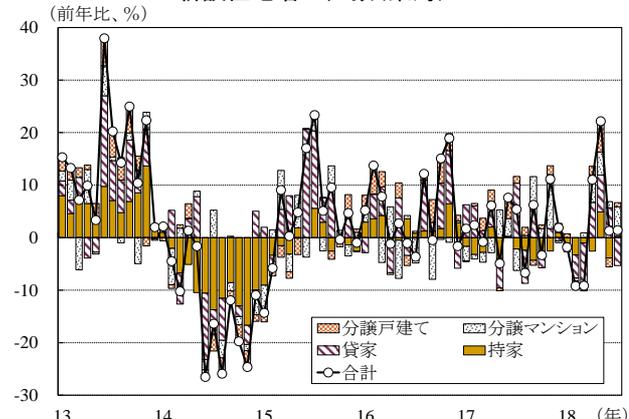


(注)『中部』は愛知、岐阜、三重、富山、石川の5県。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【住宅投資】

7月の住宅着工戸数は年率換算9.3万戸、前年比+1.3%。分譲が伸びて、全体で4ヵ月連続の増加。

新設住宅着工戸数(東海)

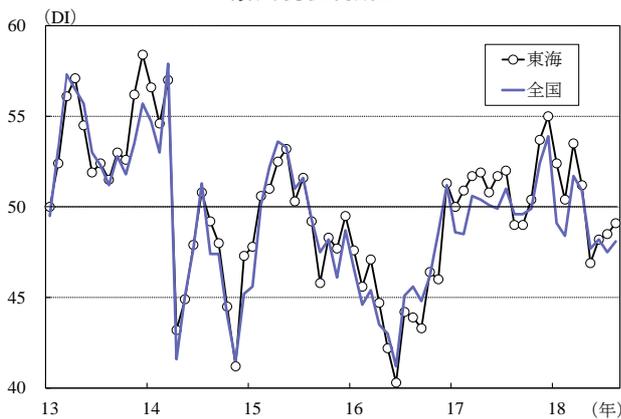


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
(資料)国土交通省東海より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【景気ウォッチャー調査】

8月の現状判断DIは49.1と、3ヵ月連続の上昇ながら、好不調の分かれ目となる50割れは変わらず。

景気現状判断DI

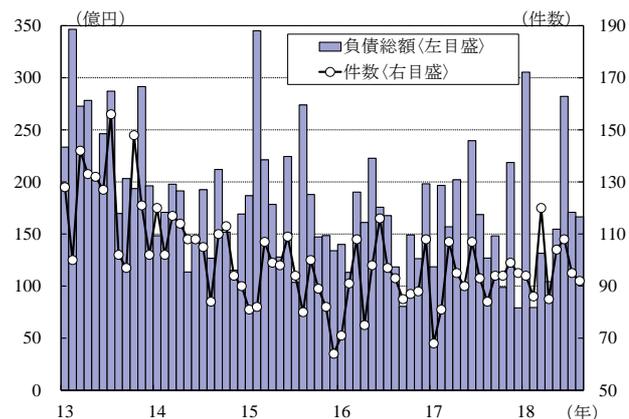


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡の4県。
(資料)内閣府資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【倒産件数】

8月の企業倒産件数は92件で、前年比+9.5%の増加。負債総額は166億円で、同+31.2%の増加。

企業倒産(東海)



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県。
(資料)東京商工リサーチ資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【原油価格】

WTI先物は貿易摩擦や世界景気への懸念等から下落後、イランの供給減等が意識され再び70ドル台へ。

原油価格

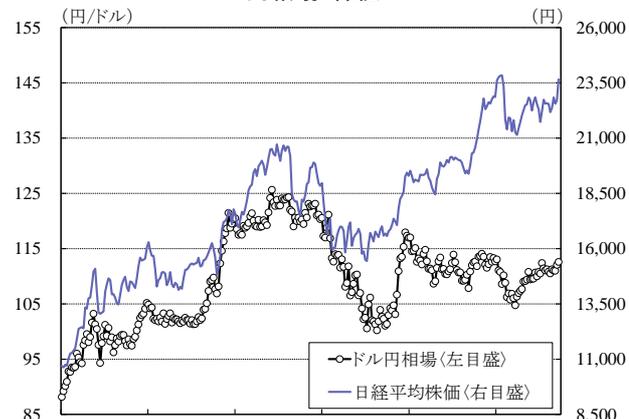


(注)『原油価格』はWTI先物。
(資料)Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

【円相場・株価】

為替相場は、日米の金利差拡大等を背景にドル高・円安が継続。企業業績も好調で、株価は上昇方向。

円相場・株価



(資料)Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

照会先：三菱 UFJ 銀行 経済調査室（名古屋）

中村 健彦 takehiko_nakamura@mufg.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。